

大学の世界展開力強化事業 取組実績 九州大学

【構想の名称】(タイプA—I CAMPUS Asia Pilot Program)

エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

専門分野の深い知識を修得し、それに基づく研究開発能力、エネルギー環境問題の現状の理解と発展的考察力、グローバルに活動するために必要な英語力を兼ね備え、かつ研究/技術者倫理を持ち、異国の文化・人・社会を理解できる人材。

【構想の概要】

エネルギー問題とそれに関係する環境問題に関わる科学と技術分野において、将来グローバルに活躍できる高度研究者・技術者を国際連携の下で育成するためのダブルディグリー理工学大学院協働教育プログラムを、九州大学(日本)、上海交通大学(中国)、釜山大学校(韓国)が共同開発し、本格的に実施すること。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

質の保証を伴ったカリキュラムの体系的設計

プログラムや教育情報の公開、教材の共同作成、共同成績審査、単位・成績互換、出口管理の厳格化を3大学間で協議し、問題点抽出と解決に向けて協議中。

成績管理、学位授与の統一的実施

日中韓大学コンソーシアム内にPDCAリーダー委員会、各大学にPDCA委員会を設置し、本大学院協働教育プログラムの点検評価とそれに基づく改善、共同教材の開発、参加学生の成績管理と学位授与の共同審査を統一して継続的に行う。

ダブルディグリー授与の検討

インターンシップ科目、課題解決型科目、知財を含む技術者・研究者倫理科目等を設定し、3大学合同でコース修了証明証を授与する。さらに、単位互換を活用した専門教育科目の単位認定、修士論文研究の共同審査方法を確立し、共同学位の授与またはダブルディグリーの授与に向けた検討/試行を行う。

■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

〈スプリングセミナー風景〉



キックオフミーティング、PDCA委員会開催、中国および韓国での打合せの開催

中国、韓国側からプログラムにたずさわる教官およびスタッフを、それぞれの国から6名および8名を招聘し、キックオフミーティング、PDCA委員会を開催、またサマースクールの詳細決定、および留学生への教育体制と講義内容等を議論した。

スプリングセミナー実施

本プログラムで24年8月に実施されるサマーセミナーの予行として、中国、韓国から学生を受け入れ、2日間の日程でスプリングセミナーを実施した。プログラム実施の上での問題点の抽出、解決への議論ができ、極めて有意義であった。

〈3大学学長による調印風景〉



■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

本プログラムにおいては、交換留学、3大学回り持ちのサマースクール(韓国→日本→中国)及びオータムセミナー(日本→中国→韓国)により学生の交流を行う。

○ 日本人学生の派遣

上海交通大学、釜山大学校への半年間の交換留学生として、H24年は各3名、九州大学において環境理工学国際

コース(10名)を設置して大学院協働教育プログラムを本格実施するH25年度からは各5名を派遣する。さらに、サマースクール(10日間)、オータムセミナー(3日間)が中国、韓国で開催される場合には、各20名の学生を派遣する。H25年度以降のサマースクールのオープン化に伴い国内他大学所属学生5名を派遣する。

○ 外国人留学生の受入れ

半年間の交換留学生として、上海交通大学、釜山大学校からそれぞれ3名(H24)、5名(H25以降)、日本開催のサマースクール、オータムセミナーに各大学より10名を受け入れ、サマースクールオープン化のための中韓以外のアジアの協定校から5名を派遣、受入れる。

	H23	H24	H25	H26	H27	計
日本への受入	C10,K10	C14,K14	C16,K16,他5	C7,K7	C17,K17	133
中国への受入	0	J4,K4	J26,K16	J32,K17,他5	J7,K7	118
韓国への受入	0	J24,C14	J6,C6	J27,C17	J32,C17,他5	148

注)H23は実績、H24以降は計画。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

日本人学生の派遣

グローバル性の涵養のみならず、アジアを中心とするグローバルなキャリアパス形成を可能とするために、留学が就職の障害とならないような就職情報の提供やメール相談を行うとともに、参加学生への企業からの冠奨学金等の獲得など修学支援・就職支援・生活支援を強化し、日中韓の参加学生を全面的にサポートする。

留学生の受入

英語による講義経験を持つ特定プロジェクト教員(2名採用)、国際交流コーディネーターと既存の教務課職員、当プロジェクト専用の支援スタッフ(2名採用)及び事務補佐員(2名採用)で構成したCAMPUS Asiaオフィスを設置し、修学指導、在籍管理、生活支援を行う。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

プログラム独自のホームページ(<http://www.tj.kyushu-u.ac.jp/campus-asia/>)を設置し、取組実施状況とプログラムの詳細など必要な情報について、掲載済みである。また日中韓大学コンソーシアム(3大学)主催による国際シンポジウム等を実施し、各大学の関係者や学生への普及を図る。